

副理事長就任あいさつ

4月に当事業団の副理事長に就任いたしました。

私は、県職員として38年間、総務、企画部門を中心に、医療、商工労働観光、農林水産、教育行政のほか、監査や県議会の事務局など県政全般に渡り様々な業務に携わってきました。また、県北広域振興局や沿岸広域振興局での勤務では、地域の方々と共に地域の課題解決に取り組んだことも貴重な経験の一つであり、その中でも地域福祉の推進・充実は、サービスの利用者の方々に安全・安心な日常生活を提供することに止まらず、地域全体の活力の維持・向上につながっていると実感しています。副理事長就任に当たり、改めてその職責の重さを自覚するとともに、県民福祉の向上と事業団の発展に努めていきます。

さて、当事業団は、八重樫岩手県副知事を理事長に迎え新年度をスタートしました。今年度は現在の中長期経営基本計画の4年度目であり、折り返しも迫ってきました。この間においても、人口減少・少子高齢化の進展など本県福祉を巡る環境は目まぐるしく変化しており、当事業団としても環境変化に対応しながら、計画の着実な推進と安定的かつ自律的な経営の確立に向けて一丸となって取り組んでいくことが重要です。

これまで本県福祉の第一線で培ってきた豊富な経験と優秀な人材は大きな財産です。当事業団が将来に渡って良質な福祉サービスを提供していくために、職員及び関係機関、団体の皆様と一緒に取り組んでいきますので、皆様の御支援、御協力をお願い申し上げます。



副理事長
小畑 真